

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
 政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに
 重点的取組 1 幹線道路の渋滞を解消する

担当課名	建設部 建設総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	02	道路橋りょう費
	目	02	道路橋りょう新設改良費

事業名	国・県道整備負担金(政策)	事業開始年度	平成 * 年度
	国・県道の整備促進	根拠法令 条例 個別計画等	広島県建設事業負担金条例

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	道路利用者	日常生活及び産業活動における道路利用者の利便性が向上する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
広島県	広島県事業の円滑な推進に資するため、地元調整などの事業調整を行う	—	—

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	地区間の円滑な交通の確保や、近隣市町とのアクセスの向上のための幹線道路である、国・県道の整備を促進した。 ・事業費関連 【歳入】 ○道路整備事業債（合併特例債） 22,900,000円 【歳出】 ○廿日市地域 ・虫道廿日市線（平良） 311,580円 3,115,800円×1/10 ・国道433号（原） 4,080,000円 40,800,000円×1/10 ○佐伯・吉和地域 ・廿日市佐伯線（明石） 4,640,000円 46,400,000円×1/10 ・国道488号（東山B P） 1,840,000円 18,400,000円×1/10 ○大野地域 ・栗谷大野線（毛保） 2,628,420円 26,284,200円×1/10 ○その他（管内一円道路改良事業） 11,040,000円 110,400,000円×1/10							
	コスト情報（円）	項目	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越		
財源内訳		直接事業費 A	22,831,240	24,540,000				
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金（市債）	21,600,000	22,900,000				
		その他(使用料など)						
市（市税など）		1,231,240	1,640,000					
人件費(按分) B	0.50 人 4,287,000	0.50 人 4,229,000						
総事業費(A+B)	27,118,240	28,769,000						
単位換算	① 人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人					
	② 市民1人当たり	231	246					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考		
	活動	整備延長	m	—	—	—	値は広島県と調整中	
	成果	整備率(完成延長/全体延長) (整備計画期間内)	%	—	—	—	値は広島県と調整中	